

第278回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日	時	令和7年12月20日(土)
会	場	ステーションコンファレンス東京 5・6階 (千代田区)
	第Ⅰ会場	(503CD) ※LIVE配信会場
	第Ⅱ会場	(503AB)
	第Ⅲ会場	(501A)
	第Ⅳ会場	(501B)
	第Ⅴ会場	(602AB)
	第Ⅵ会場	(605BC)
	第Ⅶ会場	(602CD) ※ハンズオンセッション会場
	PCセンター	(501S)
	〒100-0005	東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 4～6階
	TEL	03-6888-8080
会	長	東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部
		吉田 博

御 案 内

第Ⅰ会場のみLIVE配信を行います。参加の際は事前参加登録にご協力ください。詳細は地方会HPをご確認ください。

1. 参加費：会員／非会員 (医師) 3,000円
後期研修医、コメディカル 1,000円
初期研修医、医学部学生 無料
※当日、受付にて初期研修医証明書、学生証をご提示下さい。

2. 受付時間：参加受付 8:30-18:00
PCセンター 8:30-17:30

3. 一般演題発表時間：口演5分、討論3分

4. Award：Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。

選考委員による第一次書類審査による選考後、地方会当日口述発表による第二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(口演6分、討論4分)

Student Award：第Ⅱ会場：16:00-16:50

Resident Award：第Ⅱ会場：17:00-17:50

Case Report Award：第Ⅰ会場：17:05-17:55

Clinical Research Award：第Ⅰ会場：16:00-16:50

なお、以下の項目が審査の対象となります。

- 1) 正しい医学用語の使用
- 2) 発表時間の厳守と態度
- 3) 考察
- 4) 質問に対する応答
- 5) 循環器臨床に対する貢献度

表彰式は評議員会終了後に評議員懇親会で行います。

5. その他：会場内では携帯電話のスイッチはお切りいただきマナーモードに設定して下さい。
また、講演中の写真撮影はご遠慮下さい。

託児サービスのご案内：

日本循環器学会関東甲信越支部では、地方会へのご参加の利便を図るため託児サービスを行っております。

評議員会：地方会終了後、第Ⅰ会場で行います。

(懇親会は5階フロアにて行います。)

次回地方会：第279回地方会は次の通りです。

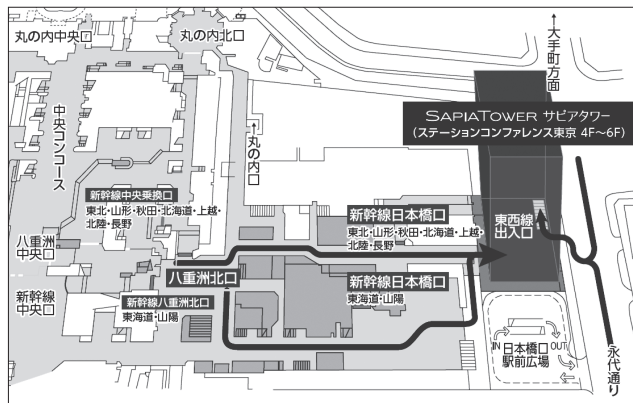
日時：令和8年2月14日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京 (千代田区)

会長：井口 信雄

(榊原記念病院附属クリニック)

ステーションコンファレンス東京 案内図



交通のご案内

【JR線・東京メトロ】

「東京駅」日本橋口(新幹線専用改札口) 徒歩1分

八重洲北口改札口 徒歩2分

東京メトロ東西線「大手町駅」B7 出口から直結

ご挨拶

第278回日本循環器学会関東甲信越地方会
会長 吉田 博
東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部



この度、第278回日本循環器学会関東甲信越地方会の大会長を拝命いたしました。多数の一般演題をご登録いただき、心より感謝いたします。今回のテーマは、「患者さんの思いに応える循環器診療」といたしました。これは本学、東京慈恵会医科大学の建学の精神・大学の理念である“病気を診ずして病人を診よ”を、一人ひとりが日々の活動で体現する行動化スローガン（合言葉）「患者さんの思いに応える教育、研究、医療を！」が基盤にあります。

循環器診療の発展は目覚ましく、カテーテルやデバイスなどの進歩および治療対象の拡大などから、診療現場では先進化・細分化が続いています。しかしながら、診療を受ける患者さんの立場や思いには、全人的な医療やチーム医療に基づいた診療アウトカムの還元が重要であり、さらには先進的な治療とともに予防医療・重症化予防が循環器診療にも求められています。

こうした視座から、教育セッション、会長企画セッションなどにおきましては、経験豊富なレジェンドの先生方より現在の治療および今後の展望をお話ししていただけたと思います。近年の循環器診療では、高度専門化とともに低侵襲化が進んでいるなか、関連するエビデンスの蓄積およびこれまでの臨床経験はとても重要でありますので、この第278回地方会が基本的あるいは専門的なレジュの共有の場となり、ご参加の皆様の議論が深まることを祈念しております。

また若手医師や医学生にも循環器内科の素晴らしさを味わっていただきたいと考えておりまして、第278回地方会では新規の取組みとして、エコー（POCUS心エコー・血管エコー）やカテーテルのハンズオンセミナーを企画しております。

各企画を協力・推進していただいた先生方、ご協賛いただきました各企業の皆様に、深謝申し上げます。企画講演や一般演題などの発表や質疑を通して、ご参加の皆様の親交がさらに深まりますようお願いしております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、二次元コードより要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。



第278回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和7年12月20日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 5・6階（千代田区）

会長：東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部 吉田 博

第Ⅰ会場		第Ⅱ会場		第Ⅲ会場		第Ⅳ会場	
8:50	開会挨拶						
9:00	会長企画セッション 家族性高コレステロール血症と循環器疾患 演者：斯波 真理子 舟橋 紗耶華	9:00	一般演題1 心筋炎・心筋症1	9:00	一般演題5 不整脈1	9:00	一般演題10 末梢血管1
		9:50	P9	9:50	P16	9:35	P21
		9:50	一般演題2 心筋炎・心筋症2	9:55	一般演題6 不整脈2	9:45	一般演題11 末梢血管2
10:30	P6	10:40	P10	10:35	P17	10:20	P21
10:40	教育セッションⅠ 循環器領域の臨床研究と将来の展望 演者：山根 禎一 一原 直昭 植田 真一郎	10:40	一般演題3 心筋炎・心筋症3	10:50	一般演題7 デバイス	10:40	心リハ合同セッション 多職種で心臓リハビリのエビデンスを構築する 演者：田屋 雅信、井上 さくや、磯 良崇、吉田 俊子、田嶋 明彦
		11:30	P11	11:25	P17		
		11:35	一般演題4 静脈	11:35	一般演題8 大動脈		
12:10	P6	12:10	P12	12:10	P18	12:10	P22
12:20	ランチョンセミナー1 『心腎連関を考慮した心不全治療-SGLT2阻害薬の役割-』 演者：山口 淳一 共催：日本ペリンガーインゲルハイム	12:20	ランチョンセミナー2 心アミロイドーシス診療の最新の知見 演者：村田 広茂、中埜 信太郎 共催：ファイザー	12:20	ランチョンセミナー3 『循環器医師が診る肥満症治療』 演者：重城 健太郎 共催：ノボ ノルディスクファーマ	12:20	ランチョンセミナー4 その患者、本当にただの冠動脈疾患ですか？― 背後に潜む家族性高コレステロール血症ホモ接合体 (HoFH) 演者：南 尚賢、梅本 朋幸 共催：Ultragenyx Japan
13:10	P6	13:10	P12	13:10	P18	13:10	P22
13:20	教育セッションⅡ 頻脈性不整脈治療の最新の話題 演者：徳田 道史 林 英守 永嶋 孝一 西村 卓郎	13:20	基礎研究セミナー 循環器基礎研究の楽しさを探る 最近のトピックスのケーススタディ 演者：長瀬 美樹 小豆島 健護 柳沢 裕美 藤生 克仁	13:20	学術委員会企画セッション 循環器疾患最新のエビデンス：2025 ESC/AHAのtopic 演者：齋藤 佑一 小保方 優 黒木 健志 梅井 智彦 大野 洋平	13:20	第25回ダイバーシティ・フォーラム 心不全多職種カンファレンス in 日循環甲信越地方会 演者：渡邊 将央、田前 麻生
		14:50	P12	14:50	P19	14:50	P22
14:50	P6	14:50		14:50		14:50	
15:00	デザートセミナー1 siRNAが切り拓くATTR心アミロイドーシス治療の新時代 演者：遠藤 仁 共催：Alnylam Japan	15:00	デザートセミナー2 自己拡張型デバイスを用いたTAVIについて 演者：笠原 健大、渡邊 雄介 共催：日本メドトロニック	15:00	デザートセミナー3 慢性心不全 演者：鍋田 健 共催：バイエル薬品	15:00	デザートセミナー4 AF Total Management～WATCHMANによる心房細動マネジメントのシンカ～ 演者：飯田 剛幸、高橋 良英 共催：ボストン・サイエンティフィックジャパン
15:50	P7	15:50	P13	15:50	P19	15:50	P23
16:00	Clinical Research Award	16:00	Student Award	16:00	一般演題9 弁膜症関連	16:00	一般演題12 全般的問題/その他
16:50	P7	16:50	P13	17:00		16:40	
17:05	Case Report Award	17:00	Resident Award				
17:55		17:50					
18:00	閉会挨拶						
18:05	評議員会						

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション、医療安全・医療倫理に関する講習会）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいますようお願い申し上げます。

セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）、医療安全・医療倫理に関する講習会（2単位）はそれぞれ単位の登録手続きを行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～18:00（開催終了まで）

■「教育セッション」（3単位）受付時間 10:10～11:40/12:50～14:20（開始30分前から終了30分前まで）

■「医療安全・医療倫理に関する講習会」（2単位）受付時間 15:30～17:30（開始30分前から終了30分前まで）

第Ⅴ会場		第Ⅵ会場		第Ⅶ会場	
9:00	一般演題 1 3 肺高血圧 P25			9:00	602C POCUS心エコー 「その胸痛、心臓が原因? POCUS で探るクリティカルサイン ～ブロープの持ち方から 描出のコツまで～」 講 師：横山 直之 実技指導：野尻 明由美 宮坂 政紀
9:35					
9:45	一般演題 1 4 心不全 P25				602D 血管エコー 「これから始める血管エコー ～描出方法からドブラ法の 基本まで～」 講師、実技指導：増山 里枝子 実技指導：半沢 美恵子 協賛：GEヘルスケア・ ジャパン P32
10:20					
10:40	循環器病対策推進セッション 脳卒中・心臓病等総合支援セン ターモデル事業の今後の展望 演者：近藤 祐介 明石 嘉浩 佐藤 明 P26	11:20	一般演題 1 5 虚血性心疾患 1 P28	12:00	
12:10		12:10			
12:20	ランチョンセミナー 5 「動脈硬化と闘う未来の医療： 脂質異常症研究の最前線」 演者：多田 隼人 共催：興和 P26	12:20	ランチョンセミナー 6 OCT 演者：羽柴 克孝 共催：アボットメディカル ジャパン P28		
13:10		13:10			
13:20	生物統計セミナー 質の高い臨床研究を目指して 演者：高橋 翔 P26	13:20	一般演題 1 6 虚血性心疾患 2 P29	13:30	カテーテルハンズオン 「明日は我が身 PCIトラブル シューティングセミナー」 講 師：小川 崇之 実技指導：福島 啓介 木下 浩司 協賛：テルモ P32
14:20		14:00			
14:25	会長講演 血清リポ蛋白(a)の測定 と動脈硬化性疾患のリスク管理 演者：吉田 博 P26	14:05	一般演題 1 7 虚血性心疾患 3 P29		
14:55		14:45			
15:05	デザートセミナー 5 閉塞性肥大型心筋治療の新時代 演者：平谷 太吾 共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ P27	14:55	一般演題 1 8 虚血性心疾患 4 P30		
15:55		15:35			
16:00	医療安全・医療倫理 に関する講習会 (DVDセッション) P27	15:45	一般演題 1 9 心内膜炎関連 P31	16:30	
18:00		16:20			

第Ⅰ会場

会長企画セッション

9:00-10:30

家族性高コレステロール血症と循環器疾患

家族性高コレステロール血症を見逃さないためにすべきこと

(大阪医科薬科大学循環器センター) 斯波真理子

ショートレクチャー

(杏林大学医学部循環器内科) 舟橋紗耶華

教育セッションⅠ

10:40-12:10

循環器領域の臨床研究と将来の展望

次世代に伝える不整脈領域の臨床研究

(東京慈恵会医科大学循環器内科) 山根 禎一

これからの臨床研究のかたち

(大阪大学医学部附属病院未来医療開発部) 一原 直昭

循環器領域の臨床試験と患者市民参画

(琉球大学病院文部科学省高度医療人材養成拠点) 植田真一郎

ランチョンセミナー 1

12:20-13:10

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

座長 (東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科) 小武海公明

『心腎連関を考慮した心不全治療-SGLT2阻害薬の役割-』

(東京女子医科大学循環器内科) 山口 淳一

教育セッションⅡ

13:20-14:50

座長 (東京慈恵会医科大学循環器内科) 山根 禎一

座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科・不整脈科) 加藤 律史

頻脈性不整脈治療の最新の話

パルスフィールドアブレーション-心房細動は肺静脈に宿る-

(東京慈恵会医科大学循環器内科) 徳田 道史

心房細動は肺静脈以外にも宿る

(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 林 英守

房室結節リエントリー性頻拍はSlow pathwayに宿る

(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科) 永嶋 孝一

心室頻拍は瘢痕に宿る —ScarとVT circuitの臨床的関連—

(東京科学大学循環器内科) 西村 卓郎

デザートセミナー 1

15:00-15:50

共催：Alnylam Japan株式会社

座長（国際医療福祉大学成田病院）

河村 朗夫

siRNAが切り拓くATTR心アミロイドーシス治療の新時代

『新たな選択肢を迎えた ATTR-CM Treatment -原因たんぱく質の産生を抑える意義-』

（慶應義塾大学医学部） 遠藤 仁

Clinical Research Award

16:00-16:50

座長（防衛医科大学校循環器内科） 足立 健

座長（千葉大学循環器内科学） 小林 欣夫

審査委員長（聖マリアンナ医科大学循環器内科） 明石 嘉浩

審査委員（筑波大学医学医療系循環器内科） 石津 智子

審査委員（横浜市立大学医学部循環器内科学） 日比 潔

審査委員（東京大学医科学研究所附属病院循環器内科） 武田 憲文

I-1 肺血栓塞栓症におけるLp(a)高値と血栓退縮不良の関連

（防衛医科大学校病院循環器内科）

前川原愛実

長友 祐司、清瀬 敬太、宮内 瑛、菊池 恭史、

中島 侑政、内藤 薫、漆島 司、大堀 正則、

廣田 彰子、岩下 碧、安田理紗子、小西 崇夫、

池上 幸憲、眞崎 暢之、足立 健

（東大和病院循環器内科）

姫野 雅史

I-2 運動負荷心エコー図検査での負荷強度が左室駆出率の保たれた心不全の診断や予後予測に与える影響

（群馬大学医学部附属病院）

箱田 祥子

小保方 優、鏡 和樹、湯浅 直紀、原田 智成、

村上 文崇、反町 秀美、石井 秀樹

I-3 高安動脈炎における血清細胞外小胞由来miRNAを標的とした新規バイオマーカーの探索

（東京科学大学循環制御内科学）

川尻 紘平

笹野 哲郎

（大阪公立大学ウイルス学・寄生虫学）

中釜 瞬

（東京科学大学循環制御内科学/獨協医科大学日光医療センター心臓・血管・腎臓内科）

前嶋 康浩

I-4 Lp(a)とMDA-LDLによる二重層別化を用いたACSの重症度と患者像の比較検討

（埼玉県済生会加須病院循環器内科/東京女子医科大学循環器内科）

鈴木 寛子

小野 真珠、福島 博、菊池 保宏、木村 祐也、

新井 清仁、寺嶋 豊

（東京家政大学栄養学部栄養学科/東京女子医科大学循環器内科）

佐藤加代子

（埼玉県済生会加須病院循環器内科/多摩総合医療センター循環器内科）

三吉野 一

I-5 非ST上昇型急性冠症候群患者の長期予後と冠動脈CTで計測する血管周囲脂肪減衰指数との関係

（土浦協同病院循環器内科）

左山 耕大

白井 英祐、金地 嘉久、上野 弘貴、渡邊 匠、

渡邊 崇弘、村上 理子、廣井 駿太、細川 凱生、

角田 恒和

座長（帝京大学医学部内科学講座・循環器内科）上妻 謙
座長（信州大学循環器内科）桑原宏一郎
審査委員長（獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科）豊田 茂
審査委員（北里大学病院循環器内科）東條美奈子
審査委員（横浜栄共済病院循環器内科）野末 剛
審査委員（東邦大学医療センター大橋病院心臓血管外科）尾崎 重之

I-6 *KHLH24*の機能獲得型病的バリエーションによって単純型表皮水疱症と拡張型心筋症を発症した若年男性の一例

（東京大学医学部附属病院循環器内科学） 瀬戸口仁美
八木 宏樹、田中 亮平、蛭間 貴司、井上 峻輔、
野村征太郎、石田 純一、網谷 英介、波多野 将、
武田 憲彦
（東京大学医学部付属病院病理部） 阿部 浩幸
（国際医療福祉大学） 小室 一成

I-7 マルチモダリティで観察したMitral Arcadeの手術症例

（昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門） 國本恵理奈
望月 泰秀、河原 咲子、山本 祐実、小倉 沙綾、
蜂矢 るみ、福岡 裕人、新家 俊郎

I-8 経皮的左心耳閉鎖術後のピットフォール：冠動脈左回旋枝-左心耳瘻の1例

（東邦大学医療センター大森病院） 江口 優太
小池 秀樹、小島 至正、橋本 英伸、矢部 敬之、
大久保 亮、佐地 真育、木内 俊介、藤野 紀之、
中西 理子、天野 英夫、久武 真二、池田 隆徳

I-9 出産直後の失神を契機に診断された重症肺高血圧症に対し補助循環装置を含む集学的治療で救命し得た一例

（筑波大学附属病院循環器内科） 寺内 泰観
佐藤 希美、山本 昌良、石津 智子

I-10 Stanford A型急性大動脈解離に伴う心外膜下血腫の圧排により肺動脈閉塞を来した一例

（日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科） 中嶋 翼
澁谷 淳介、河野 文哉、鈴木 裕貴、浅見 慎思、
伊藤 紳晃、渡邊 将央、木村 徳宏、脇田 真希、
中田 淳、宮地 秀樹、山本 剛、浅井 邦也、
網谷 亮輔、鈴木 憲治、白川 真、石井 庸介

第Ⅱ会場

一般演題セッション1 心筋炎・心筋症1

9:00-9:50

座長 (防衛医科大学校病院集中治療部) 眞崎 暢之

座長 (順天堂大学循環器内科学講座循環器内科) 砂山 勉

コメンテーター (東海大学医学部付属病院循環器内科) 伊地知 健

コメンテーター (東京大学医学部附属病院循環器内科) 瀧本 英樹

Ⅱ-1 褐色細胞腫・パラガングリオーマによるカテコラミン誘発性心筋症の1例

(筑波大学医学医療系循環器内科) 芳賀 圭

山田 優、高畑 葵、川松 直人、佐藤 希美、

山本 昌良、町野 智子、石津 智子

Ⅱ-2 糖尿病ケトアシドーシスおよび甲状腺機能亢進症を契機に急性心膜心筋炎を発症した1型糖尿病の一例

(聖隷横浜病院) 笠間 武瑠

山中遼太郎、長谷川和喜、仙波 貴之、富島 佳之、

清原 久貴、中島 啓介、乗松 東吾、河合 慧、

芦田 和博

Ⅱ-3 ARVC様の病態を呈した慢性心筋炎の一例

(防衛医科大学校病院循環器内科)

水谷 航太

長友 祐司、宮内 瑛、菊池 恭史、中島 侑政、

前川原愛実、廣田 彰子、内藤 薫、漆島 司、

赤井 駿、杭ノ瀬和彦、内藤 朱美、河合 茜、

中澤 亮太、樽岡 輝、小西 崇夫、池上 幸憲、

足立 健

(防衛医科大学校病院集中治療部) 安田理紗子、眞崎 暢之

Ⅱ-4 劇症型心筋炎に伴う心原性ショックに対して補助循環を用いて救命し得た一例

(新百合ヶ丘総合病院循環器内科)

内藤 倫人

櫻井 馨、西尾 祥郎、工藤 侃、原 果里奈、

田仲 明史、秋元 耕、山上 洋介、高橋 良英

Ⅱ-5 劇症型ALアミロイドーシスの一例

(群馬県済生会前橋病院循環器内科)

宮崎なな美

布施 智博、土屋 寛子、館野利絵子、戸島 俊一、

池田 士郎、福田 丈了、中野 明彦

Ⅱ-6 心房中隔欠損症に対して欠損孔閉鎖術を試みたが閉鎖せず撤退した1症例

(昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

國本恵理奈

望月 泰秀、河原 咲子、山本 祐実、小倉 沙綾、

蜂矢 るみ、福岡 裕人、新家 俊郎

一般演題セッション2 心筋炎・心筋症2

9:50-10:40

座長（東京慈恵会医科大学循環器内科） 本郷 賢一
座長（東京科学大学循環器内科） 立石 遼
コメンテーター（春日部市立医療センター循環器内科） 新井 将
コメンテーター（東京女子医科大学薬理学） 松浦 勝久

II-7 不整脈精査をきっかけに診断に至った家族性アミロイドーシスの一例

（土浦協同病院循環器内科）

下里 光
廣井 駿太、瀬戸口実玲、石沢 太基、仲田 恭崇、
原 聡史、佐藤 慶和、三輪 尚之、久佐 茂樹、
蜂谷 仁

II-8 非典型的な所見を呈した初期のトランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例

（防衛医科大学校病院循環器内科）

大原 悠
長友 祐司、仲西 雄大、植野 達也、木村 大地、
宮内 瑛、大堀 正則、漆島 司、前川原愛実、
内藤 薫、内藤 朱美、河合 茜、中澤 亮太、
樽岡 輝、竹藤亜紗子、安田理紗子、小西 崇夫、
池上 幸憲、足立 健

（防衛医科大学校病院集中治療部）

眞崎 暢之

II-9 急性心不全を呈したにも関わらずCK上昇を伴わないirAE心筋炎に対して早期に治療介入し得た一例

（防衛医科大学校病院循環器内科）

得永 豪勇
長友 祐司、中島 侑政、宮内 瑛、菊池 恭史、
前川原愛実、廣田 彰子、漆島 司、大堀 正則、
内藤 薫、小西 崇夫、池上 幸憲、足立 健
（防衛医科大学校病院集中治療部） 安田理紗子、眞崎 暢之

II-10 急性リンパ球性心筋炎で抗ミトコンドリアM2抗体の関連が強く疑われた一例

（浅間南麓こもろ医療センター）

澤木 友将
神津 亮輔、永澤 孝之、甲斐 龍一

II-11 心室頻拍、完全房室ブロックを呈した心臓サルコイドーシス再燃の一例

（国立国際医療センター循環器内科）

立川 麗華
三宅 渉、寺島 諒、榎本 善成、岡崎 徹、
山本 正也、原 久男、廣井 透雄

II-12 「オシメルチニブによる心機能障害が考えられた一例」

（聖マリアンナ医科大学病院循環器内科）

網代 大樹
宮原 大輔、鈴木 規夫、出雲 昌樹、田邊 康宏、
明石 嘉浩

一般演題セッション3 心筋炎・心筋症3

10:40-11:30

座長 (東海大学医学部附属八王子病院循環器内科) 牛島 明子
座長 (慶應義塾大学循環器内科) 白石 泰之
コメンテーター (東京医科大学循環器内科) 小菅 寿徳
コメンテーター (川口市立医療センター循環器科) 國本 聡

II-13 マバカムテン単剤で左室流出路狭窄が改善した閉塞性肥大型心筋症の一例

(防衛医科大学校病院循環器内科) 菊池 恭史
長友 祐司、得永 豪勇、中島 侑政、宮内 瑛、
廣田 彰子、前川原愛実、漆島 司、内藤 薫、
大堀 正則、杭ノ瀬愛彦、水谷 航太、内藤 朱美、
中澤 亮太、河合 茜、竹藤亜紗子、小西 崇夫、
池上 幸憲、足立 健
(防衛医科大学校病院集中治療部) 安田理紗子、眞崎 暢之

II-14 "double QRS"を呈し不整脈原性心筋症との鑑別に苦慮した心サルコイドーシスの1例

(広尾病院循環器科) 鈴木千紗都
笠野 健介、和泉 碧葉、松山 恭平、本間 正直、
横関 文弥、三浦麻利衣、神崎 拓、砂川 昌隆、
水沼 吉章、佐々木高史、山岡広一郎、鯨岡 裕史、
新井 智之、吉田 精孝、高橋 正雄、北條林太郎、
土山 高明、深水 誠二

II-15 両心不全からの回復過程で右室障害が遷延した劇症型心筋炎の一例

(東京女子医科大学病院) 高瀬 聡之
大藪謙次郎、亀谷 智子、岸原 誠、藤田 元博、
服部 英敏、春木伸太郎、南 雄一郎、山口 淳一

II-16 骨髓異形成症候群による輸血依存を背景に心不全を発症し心筋生検でヘモクロマトーシスと診断した一例

(日本医科大学循環器内科) 藺田大二郎
藤本 雄飛、齋藤 優、寺門 誠雄、星加 優、
蜂須賀誠人、内山沙央里、浅井 邦也、岩崎 雄樹

II-17 潰瘍性大腸炎診断早期にメサラジン増量後に心膜心筋炎を合併した若年男性の一例

(多摩総合医療センター循環器内科) 藤井 駿
磯貝 俊明、守井 悠祐、加藤 賢

II-18 完全房室ブロックと心室中隔基部菲薄化を呈した好酸球性心筋炎の一例

(杏林大学医学部付属病院) 朝倉 来実
勝目 有美、中田 千穂、永松 佑基、福士 圭、
竹内 真介、合田あゆみ、佐藤 俊明、河野 隆志、
日比谷孝志、副島 京子

一般演題セッション4 静脈

11:35-12:10

座長 (SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科) 安齋 均
座長 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 池田 長生
コメンテーター (昭和医科大学藤が丘病院循環器内科) 森 敬善

II-19 静脈血栓塞栓症治療中にヘパリン起因性血小板減少症を発症した妊婦の一例

(豊島病院循環器内科) 吉田 祥子
藤波 竜也、高橋 巧宅、町田 宗将、川勝 紗樹、
仲村 太一、中島 淳、畑 明宏
(東京科学大学循環器内科) 笹野 哲郎

II-20 妊娠中にDVTを発症した第V因子ライデン変異を有する日欧両親を持つ女性の一例

(東邦大学医療センター佐倉病院循環器内科) 岩川 幹弘
清水 一寛
(東邦大学医療センター佐倉病院腎臓内科) 鈴木 裕介
(東邦大学医療センター佐倉病院臨床検査部) 村野 武義

II-21 妊娠契機の静脈血栓症に対して先天性AT-Ⅲ欠損症とヘパリン起因性血小板減少症を考慮して対応した一例

(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 光山 千智
渡辺 直生、岩間 春佳、久保田香菜、石山 裕介、
横田 彩子、小形 幸代、原田 顕治、荻尾 七臣

II-22 肺血栓塞栓症を発症し下大静脈フィルターを留置した重複下大静脈の一例

(水戸協同病院循環器内科) 宮田 忠樹
酒井 俊介、小林 駿太、須藤 雄太、仲野 晃司、
石井雄一郎、外山 昌弘
(高萩協同病院内科) 渡辺 重行

ランチョンセミナー2

12:20-13:10

共催：ファイザー株式会社

座長 (虎の門病院循環器センター内科) 児玉 隆秀

心アミロイドーシス診療の最新の知見

「ここまできた！明日から実践できるATTR-CMの標準治療の導入まで」

(日本医科大学付属病院循環器内科) 村田 広茂

「アミロイドーシス診療の意外な盲点」

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 中埜信太郎

基礎研究セミナー

13:20-14:50

座長 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学/先進老化制御学講座) 吉田 陽子

座長 (東京科学大学大学院歯学総合研究科病態代謝解析学) 大石由美子

循環器基礎研究の楽しさを探る 最近のトピックスのケーススタディ

メカノセンサーと循環調節

(杏林大学医学部肉眼解剖学) 長瀬 美樹

組織レニン-アンジオテンシン系の新展開

(横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学) 小豆島健護

大動脈解離における血管内皮細胞の新たな役割
(筑波大学生存ダイナミクス研究センター) 柳沢 裕美

中央免疫記憶による心不全の再発機序と心不全合併症の発症機序
(東京科学大学総合生理学/東京大学先進循環器病学) 藤生 克仁

デザートセミナー 2 15:00-15:50 共催：日本メドトロニック株式会社
座長 (三井記念病院) 阿佐美匡彦
自己拡張型デバイスを用いたTAVIについて

症例提示
(東京女子医科大学病院) 笠原 智大

講演
(帝京大学医学部附属病院) 渡邊 雄介

Student Award
16:00-16:50

座長 (昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎
座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳
審査委員長 (日本医大武蔵小杉病院救急・総合診療センター総合診療科) 塚田(哲翁) 弥生
審査委員 (東京慈恵会医科大学循環器内科) 徳田 道史
審査委員 (東京科学大学循環器内科) 笹野 哲郎
審査委員 (東京女子医科大学心臓血管外科) 新浪 博士

II-23 心房中隔欠損症・慢性血栓性肺高血圧症により platypnea orthodeoxia syndrome を合併した1例
(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 藤巻 琢也
池田 長生、橋本 剛、新倉 寛輝、林 典行、
國正 妙子、中村啓二郎、飯島 雷輔、原 英彦

II-24 イバブラジン先行投与がHFrEF患者におけるGDMT最適化を促進する可能性：WET-HF2レジストリ解析

(防衛医科大学校医学科) 安田 有輝
(防衛医科大学校循環器内科) 長友 祐司、内藤 朱美、河合 茜、足立 健
(杏林大学循環器内科) 合田あゆみ、河野 隆志
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 野本美智留
(慶應義塾大学医学部循環器内科) 白石 泰之、香坂 俊、庄司 聡
(榊原記念病院循環器内科) 北村 光信、吉川 勉
(済生会中央病院循環器内科) 宮本 和享
(東京医療センター循環器内科) 坂本 宗久
(昭和医科大学循環器内科) 樋口 聡

II-25 リードレスペースメーカー挿入を困難にした左下大静脈と肝部下大静脈欠損奇静脈結合
(東邦大学医学部医学科) 増田 愛子
(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 浅見 雅子、横森 広樹、塚越 有月、小泉 貴洋、
林 典行、池田 長生、原 英彦

II-26 ジギタリス中毒に関連したTorsades de Pointes発作を繰り返したHFpEFの一例

(防衛医科大学校医学科) 長田 泰知
 (防衛医科大学校循環器内科) 長友 祐司、宮内 瑛、大堀 正則、赤井 駿、
 水谷 航太、漆島 司、前河原愛実、内藤 朱美、
 河合 茜、中澤 亮太、樽岡 輝、竹藤亜紗子、
 小西 崇夫、池上 幸憲、足立 健
 (防衛医科大学校集中治療部) 安田理紗子、眞崎 暢之

II-27 ステロイド投与を行ったアテゾリズマブの免疫関連有害事象による心筋炎の一部検例

(昭和医科大学医学部医学科) 中山 稜真
 (昭和医科大学法医学講座) 松山 高明
 (昭和医科大学法医学講座/国立循環器病研究センター病理部) 雨宮 妃
 (昭和医科大学臨床病理診断学講座) 矢持 淑子
 (昭和医科大学循環器内科) 新家 俊郎

Resident Award

17:00-17:50

座長 (北里大学医学部循環器内科学) 阿古 潤哉
 座長 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学) 南野 徹
 審査委員長 (東京慈恵会医科大学心臓外科) 國原 孝
 審査委員 (獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科) 田口 功
 審査委員 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男
 審査委員 (杏林大学医学部付属病院循環器内科) 副島 京子

II-28 ベバシズマブの心毒性による心不全と考えられた一例

(東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科) 木口 隼人
 福島 啓介、佐々木 裕、齋藤恵理子、山崎 吉人、
 中山 稜、新島 旭、横山 正明、木村 悠、
 木下 浩司、小武海公明
 (東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科) 徳田 道史

II-29 Dressler症候群を併発したST上昇型心筋梗塞とたこつぼ心筋症の診断に苦慮した一例

(墨東病院) 田中 寛大
 齊田 冠斗、柏木 祐俊、吉武沙和佳、宮本絢一郎、
 石塚 祐紀、道浦 悠、伊藤実希子、長友 理樹、
 長塩 憲司、青山 拓令、平野 仁土、大橋 浩一、
 高山 陽、市原 登、黒木 識敬

II-30 心室頻拍(VT)アブレーション後に発症したPlatypnea-Orthodeoxa Syndrome : POSの1例

(SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科) 齋藤凜太郎
 渡邊 宏哉、梶原 啓吾、齋藤理香子、湯澤 雅哉、
 伊藤 貢世、齊藤 翔太、鮫島 雄祐、矢部 顕人、
 武中 宏樹、根本 尚彦、安齋 均

II-31 上行弓部大動脈人工血管置換後の人工血管高度屈曲により溶血性貧血をきたした1例

(上尾中央総合病院初期臨床研修) 平 滯央
 (上尾中央総合病院) 増田新一郎、山本 貴裕、岩崎 里衣、柿内 健志、
 堀 大治郎、谷本 周三、緒方 信彦、一色 高明

II-32 長期間頻脈誘発性心筋症と診断されていた抗ミトコンドリア抗体陽性心筋炎の一例

(山梨大学医学部附属病院臨床研修センター)

(山梨大学医学部附属病院循環器内科)

赤木 舞
小林 剛、川口 直紀、江口 実佑、須藤 洸司、
後藤 剛顕、大森 一平、齋藤 惇平、朝比奈千沙、
相沢 聖子、山田 亮太、出山順太郎、堀越 健生、
吉崎 徹、渡邊 陽介、植松 学、中村 和人、
黒木 健志、中村 貴光、佐藤 明

第Ⅲ会場

一般演題セッション5 不整脈1

9:00-9:50

座長（東京慈恵会医科大学附属第三病院循環器内科）宮永 哲
座長（日本大学医学部附属板橋病院内科学系循環器内科分野）渡邊 隆大
コメンテーター（信州大学病院循環器内科）岡田 綾子
コメンテーター（東海大学医学部附属病院循環器内科）柳下 敦彦

Ⅲ-1 代償性頻脈とみなされた不適切洞性頻脈が、急性心筋梗塞後の血行動態破綻を招いた1例

（昭和医科大学病院循環器内科）

小柳 唯
中村 友哉、山田眞美子、片桐 順史、大石 庸介、
新家 俊郎

Ⅲ-2 S-ICD植込み後に長期経過観察したLQT1の9歳男児

（昭和医科大学病院内科学講座循環器内科部門）

S-ICD植込み手技とILR設定に対する再検討

宮崎はるか
石川 貴将、高井 優希、千野 沙織、新井 脩平、
浅野 拓、新家 俊郎

Ⅲ-3 房室結節リエントリー性頻拍による頻脈誘発性心筋症を来した2症例

（心臓血管研究所付属病院循環器内科）

尾野 稔侑
有田 卓人、廣田 尚美、八木 直治、大塚 崇之、
山下 武志

Ⅲ-4 運動誘発性心室頻拍でカテコラミン誘発性多形性心室頻拍が疑われた心サルコイドーシスの一例

（防衛医科大学校病院循環器内科）

中島 侑政
池上 幸憲、宮内 瑛、菊池 恭史、前川原愛実、
廣田 彰子、漆島 司、大堀 正則、内藤 薫、
小西 崇夫、長友 祐司、足立 健
安田理紗子、眞崎 暢之

（防衛医科大学校病院循環器内科/防衛医科大学校病院集中治療部）

Ⅲ-5 左心耳を起源とした心房頻拍に対する外科的根治術

（ニューハート・ワタナベ国際病院心臓血管外科）

瀬口 龍太
大塚 俊哉、渡邊 剛
芝山納恵瑠、黒岩 信行

（ニューハート・ワタナベ国際病院循環器内科）

Ⅲ-6 右室自由壁起源の心室性期外収縮に対して冷凍アブレーションカテーテルを用いて根治することができた一例

（獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科）

飯田圭太生
安宅威久男、井上 弘貴、齋藤 郁太、増山 大樹、
北川 善之、南 健太郎、中島 敏明、豊田 茂

一般演題セッション6 不整脈2

9:55-10:35

座長 (自治医科大学内科学講座循環器内科学部門・薬理学講座臨床薬理学部門) 今井 靖

座長 (帝京大学医学部内科学講座循環器内科) 筒井 健太

コメンテーター (杏林大学循環器内科) 松尾征一郎

コメンテーター (筑波大学医学医療系循環器内科) 五十嵐 都

Ⅲ-7 vonWillebrand(vW)病を持つ心房細動に対しvW因子製剤補充下にパルスフィールドアブレーション施行した一例

(東海大学医学部附属病院循環器内科)

遠藤 基生

柳下 敦彦、飯村 和真、飯島 愛加、網野 真理、

吉岡公一郎、伊苅 裕二

Ⅲ-8 巨大右房を背景に心電図診断が容易となった術後心房粗動

(獨協医科大学埼玉医療センター臨床研修医)

内田 淳也

(獨協医科大学埼玉医療センター)

青木 秀行、木村 優汰、佐藤 弘嗣、嶋田 怜子、

山田 康太、板橋 裕史、石川 哲也、小林さゆき、

田口 功

Ⅲ-9 心房細動に対するパルスフィールドアブレーション翌日に発症した脳梗塞-Atrial stunningが示唆された一例

(日本大学医学部附属板橋病院研修医)

金井 秀太

(日本大学医学部内科学系循環器分野)

奥村 恭男、永嶋 孝一、渡邊 隆大、江潤 康柔、

田中 雄大、増田 光、莫根 康平

Ⅲ-10 下大静脈欠損を伴う心房細動に対する胸腔鏡下外科的アブレーションの有効性

(千葉西総合病院心臓血管外科)

新妻 楠望

中山 泰介、玉川 佳澄、樋熊 佑香、古仲 美貢、

新妻 健、安元 勇人、黒田 美穂、奥木 聡志、

林 祐次郎、伊藤雄二郎、中村 喜次

Ⅲ-11 左房前壁の低電位領域と隔離された左上肺静脈の間を伝導峡部とするperi-mitral ATに対しPFAが著効した1例

(横浜市立みなと赤十字病院循環器内科)

加藤 祐樹

熊谷 勇太、廣瀬 健、岩佐 一輝、川地 祐輔、

安井 由美、喜舎場順一、小田 惇仁、大方信一郎、

新井 紘史、村田 和也、佐川雄一郎、浅野 充寿、

志村 吏左、有馬 秀紀、倉林 学、山内 康熙

一般演題セッション7 デバイス

10:50-11:25

座長 (東京科学大学循環器内科) 宮崎 晋介

座長 (日本医科大学付属病院循環器内科) 内山沙央里

コメンテーター (国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター) 合屋 雅彦

Ⅲ-12 頻回の不適切作動を認めたため皮下植込み型除細動器を抜去し、血管外植込み型除細動器の植込みを行った一例

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

永沼 嗣

池田 礼史、松本 慧、川野 大輔、田中 尚道、

佐々木 渉、成田 昌隆、松本 和久、森 仁、

荒井 隆秀、中埜信太郎、松本 万夫、加藤 律史

- Ⅲ-13 Segmental Snare Traction TechniqueによりAVEIR VR留置に成功した三尖弁輪縫縮術後の一例
(昭和医科大学病院循環器内科) 鈴木 芳和
中村 友哉、石川 貴将、宮崎はるか、高井 優希、
千野 沙織、新井 脩平、浅野 拓、新家 俊郎
- Ⅲ-14 感染リスクを考慮しリードスペースメーカおよび皮下植込み型除細動器を植込みした拡張型心筋症の一例
(東京医科大学病院心臓血管内科) 佐藤新之介
高田 康之、鴨志田淳一、寺澤 無量、矢崎 義直、
里見 和浩
- Ⅲ-15 左脚領域ペーシングで救命しえた経皮的大動脈弁置換術後左脚ブロックと心房頻拍による心原性ショックの一例
(東京科学大学病院循環器内科) 赤 俊多郎
後藤健太郎、臼井 綾香、清川 篤、立石 遼、
荒木 誠、松田 祐治、西村 卓郎、梅本 朋幸、
宮崎 晋介、笹野 哲郎

一般演題セッション8 大動脈

11:35-12:10

座長(三井記念病院循環器内科) 田邊 健吾
座長(新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科) 池上龍太郎
コメンテーター(聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 小徳のぞみ

- Ⅲ-16 弁温存大動脈基部置換術とBio-Bentall手術の比較：メタ解析
(横須賀米海軍病院) 霜田 智成
(Emory University School of Medicine Division of Cardiothoracic Surgery) 横山裕次郎
(静岡医療センター心臓血管外科) 高木 寿人
(Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School Division of Cardiology) 工野 俊樹
- Ⅲ-17 VTを契機に診断された右巨大バルサルバ洞瘤の一例
(高崎総合医療センター心臓血管内科) 飯塚 拓巳
橋本 真殊、大駒 直也、柴田 悟、羽鳥 直樹、
高橋 伸弥、村田 智行、太田 昌樹、福田 延昭
- Ⅲ-18 難治性高血圧に対するフェントラミンの使用が奏功した急性B型大動脈解離の一例
(東京Dタワーホスピタル心臓血管外科) 和田久美子
木内 竜太
- Ⅲ-19 緑膿菌によるステントグラフト感染により胸部大動脈瘤破裂し食道穿破に至った一例
(武蔵野赤十字病院) 黄 惠
金子 雅一、渡邊 剛史、高熊 朗、馬場理紗子、
小井土文香、吉光寺直哉、松田 和樹、大平 麻貴、
松山 麻央、加地 大悟、小田中勇樹、堀江 知樹、
長瀬 将、三澤 透、李 哲民、永田 恭敏、
野里 寿史、足利 貴志
(東京科学大学循環制御内科学) 笹野 哲郎

ランチョンセミナー3

12:20-13:10

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長(東海大学医学部付属病院循環器内科) 伊刈 裕二

『循環器医師が診る肥満症治療』

(埼玉医科大学総合医療センター心臓内科)

重城健太郎

学術委員会企画セッション

13:20-14:50

座長 (山梨大学大学院総合研究部内科学講座循環器内科学) 佐藤 明
座長 (信州大学循環器内科) 桑原宏一郎

循環器疾患最新のエビデンス：2025 ESC/AHAのtopic

「2025年主要学会における虚血性心疾患のアップデート」
(千葉大学医学部附属病院循環器内科)

齋藤 佑一

ESC 2025心不全関連の話題

(群馬大学医学部附属病院循環器内科)

小保方 優

不整脈治療の最新潮流：2025 ESC/AHAのトピックから
(山梨大学大学院総合研究部医学域内科学講座循環器内科学教室)

黒木 健志
佐藤 明

世界が注目する循環器基礎研究：新たなターゲットと治療戦略

(慶應義塾大学医学部循環器内科)

梅井 智彦

Hot Topics in SHD 2025

(東海大学医学部内科学系循環器内科学)

大野 洋平

デザートセミナー 3

15:00-15:50

共催：バイエル薬品株式会社

座長 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 岩花 東吾

慢性心不全

「心不全薬物治療の立ち位置と適切に導入するための工夫」
(北里大学医学部循環器内科学)

鍋田 健

一般演題セッション9 弁膜症関連

16:00-17:00

座長 (東海大学医学部内科学系循環器内科学) 大野 洋平

座長 (東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科) 奥山 虎章

コメンテーター (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 三浦 瑞樹

コメンテーター (防衛医科大学校循環器内科) 長友 祐司

Ⅲ-20 短期間で3度の心不全入院を繰り返したnonagenarianのmassive TRに対する手術経験

(東京慈恵会医科大学附属柏病院心臓外科)

田口 真吾

川田 典靖、雨谷 優

Ⅲ-21 IgG4関連大動脈炎に合併した重症大動脈弁閉鎖不全症および僧帽弁閉鎖不全症の一手術例

(東京慈恵会医科大学心臓外科)

桐谷ゆり子

石割 圭一、辻本 貴紀、高木 智充、前田 恵、
益澤 明宏、松村 洋高、長堀 隆一、儀武 路雄、
國原 孝

Ⅲ-22 高安病を有するMRに対し完全鏡視下3D-MICS MVPを施行した1例

(榊原記念病院心臓血管外科)

立石 烈

角 康平、尹 亮元、大野 真、中原 嘉則、
岩倉 具宏、丸井 晃

Ⅲ-23 低心拍出症候群を伴う重症大動脈弁狭窄症に対して準緊急でのTAVIが奏功した一例

(前橋赤十字病院医局)

西尾 理沙

庭前 野菊、安藤 和秀、椎名 貴行、富澤 美夏、

岡田 英樹、佐々木孝志、峯岸美智子、小林 洋明、

丹下 正一

Ⅲ-24 Trifecta弁を用いた大動脈弁置換術後、早期に再弁置換術を要した1例

(横浜栄共済病院循環器内科)

早乙女乃愛

藤木 洋佑、三原 豊、大島祐太郎、岩城 卓、

野末 剛

(横浜栄共済病院心臓血管外科)

新谷 佳子、川瀬 裕志

Ⅲ-25 重度の心原性ショックに陥った重症大動脈弁狭窄症合併急性僧帽弁閉鎖不全症の一例

(新潟市民病院)

荏部 哲也

田中 孔明、佐藤 史弥、瀬尾 友太、原 悠輔、

内藤 大智、林 由香、保坂 幸男、柏 麻美、

秋山 琢洋、尾崎 和幸、高橋 和義

Ⅲ-26 房室中隔欠損症心内修復術後遠隔期に副僧帽弁様組織の収縮期前方運動による左室流出路狭窄を来した1例

(東京女子医科大学病院循環器内科)

福永ゆりか

川本 尚宜、小暮 智仁、田中友佳子、春木 薫、

中尾梨沙子、齋藤 千紘、芦原 京美、大門 雅夫、

山口 淳一

(東京女子医科大学病院心臓血管外科)

吉田 尚司、新川 武史、新浪 博士

(東京女子医科大学病院循環器小児科)

稲井 慶

第Ⅳ会場

一般演題セッション１０ 末梢血管１

9:00-9:35

座長（済生会横浜市南部病院循環器内科）鈴木 健之

座長（山梨大学循環器内科）堀越 健生

コメンテーター（順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科）小西 宏和

Ⅳ- 1 コレステロール塞栓症の術後疼痛管理にLDLアフェレーシスが有効であった1例
（関東労災病院） 井村 康平

Ⅳ- 2 急性下肢虚血における血管内治療と外科治療の比較：メタ解析
（横須賀米海軍病院） 霜田 智成
（University of Texas Medical Branch Department of Surgery） 塚越 隼爾
（東京ベイ浦安市川医療センター循環器内科） 仲間 達也
（Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School Division of Cardiology） 工野 俊樹

Ⅳ- 3 アプローチ部位の選択に苦慮したF-Fバイパス術後SFA CTO一例
（総合高津中央病院循環器内科） 高木 友誠
宮本 明、石垣 成紘、中西 亨、山内 靖隆

Ⅳ- 4 孤発性浅大腿動脈瘤にカバードステント留置後、超慢性期にステント破損をきたしViabhan追加留置を要した1例
（総合高津中央病院循環器内科） 石垣 成紘
中西 亨、高木 友誠、山内 靖隆、宮本 明

一般演題セッション１１ 末梢血管２

9:45-10:20

座長（済生会横浜市南部病院循環器内科）菅野 晃靖

座長（南長野医療センター篠ノ井総合病院循環器内科）平森 誠一

コメンテーター（三井記念病院循環器内科）小宮山浩大

Ⅳ-5 骨盤内放射線治療後46年を経て発症した限局性下肢動脈閉塞の1例
（船橋市立医療センター臨床研修センター） 浅野 祐介
（船橋市立医療センター心臓血管センター循環器内科） 青山 里恵、曾根田佳久、岩田 曜、堀江 華奈、
須藤 洋尚、丘 慎清、飯高 一信、石脇 光、
沖野 晋一、福澤 茂

Ⅳ-6 血管内治療を行った下肢末梢動脈患者の腸骨動脈領域におけるIVUSとCTで測定した血管径の相関性
（千葉県済生会習志野病院循環器内科） 田澤 寿保
小林 智、坂本 直哉、白石 博一、横山 健一、
豊吉 紘之、鈴木 雅博、蒔田憲太郎、松本 忠浩、
岩崎 真奈

Ⅳ-7 非侵襲的アプローチにより完全寛解した重症下肢虚血(CLI)の一例
（国際医療福祉大学成田病院循環器内科） 益子 弘文
佐藤 貴雄、河村 朗夫
（国際医療福祉大学熱海病院） 清岡 崇彦

IV-8 Photon-counting CTを用いたCTアンギオフュージョンガイド下に施行した経皮的腎動脈形成術の3例

(東海大学医学部付属病院循環器内科)

重松 美緒
中村 則人、飯村 和真、大村 遼資、野田 賢史、
松本 裕樹、佐藤 優、宮本 淳一、塩崎 学、
村上 力、上岡 智彦、鳥居 翔、伊地知 健、
田中 重光、大野 洋平、伊莉 裕二
(秋田大学医学部附属病院循環器内科) 小野 優斗

日本循環器学会関東甲信越地方会と日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越支部の合同シンポジウム

10:40-12:10

座長 (昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 木庭 新治
座長 (順天堂大学保健医療学部) 高橋 哲也

多職種で心臓リハビリのエビデンスを構築する

多職種で心臓リハビリのエビデンスを構築する～理学療法士の立場から～

(東京大学医学部附属病院リハビリテーション部/循環器内科) 田屋 雅信

心臓血管外科手術後早期から開始される栄養管理の実状と課題

(榊原記念病院栄養管理科)

井上さくや
皆川 健太、徳永 圭子
平川功太郎
(榊原記念病院リハビリテーション科)
(榊原記念病院看護部) 長尾 工、池亀 俊美
(榊原記念病院心臓血管外科) 明石 望、角 浩平
(榊原記念病院循環器内科) 細田 徹

回復期心臓リハビリを再考するーリハビリ病院と地域クリニックへの展開と可能性ー

(昭和医科大学藤が丘病院循環器内科) 磯 良崇

多職種で心臓リハビリのエビデンスを構築する 看護師の視点から

(聖路加国際大学大学院看護学研究科) 吉田 俊子

臨床検査技師としてのエビデンスの構築

(新潟薬科大学医療技術学部)

田嶋 明彦

ランチョンセミナー 4

12:20-13:10

共催：Ultragenyx Japan株式会社

座長 (埼玉医科大学病院心臓内科/総合診療内科) 飯田慎一郎

その患者、本当にただの冠動脈疾患ですか？

ー 背後に潜む家族性高コレステロール血症ホモ接合体 (HoFH) ー

(北里大学病院循環器内科)

南 尚賢

(東京科学大学循環器内科)

梅本 朋幸

第25回ダイバーシティ・フォーラム

13:20-14:50

座長 (三井記念病院循環器内科) 堀内 優
座長 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 渡邊 将央

心不全多職種カンファレンス in 日循環東甲信越地方会

日本医科大学付属病院の心不全多職種カンファレンス 症例提示・医師の立場から

(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 渡邊 将央

三井記念病院の心不全多職種カンファレンス 症例提示・医師の立場から

(三井記念病院循環器内科) 田前 麻生

＜コメンテーター＞
看護師の立場から

(日本医科大学付属病院看護部) 川添 紀子

薬剤師の立場から

(日本医科大学付属病院薬剤部) 岩出 佳樹

理学療法士の立場から

(日本医科大学付属病院リハビリテーション科) 石山 大介

栄養士の立場から

(日本医科大学付属病院栄養科) 高橋 竜也

デザートセミナー 4

15:00-15:50

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長 (東京慈恵会医科大学附属病院) 徳田 道史

座長 (東邦大学医療センター大森病院) 藤野 紀之

AF Total Management ～ WATCHMANによる心房細動マネジメントのシンカ～

”WATCHMAN FLX Pro左心耳閉鎖術”の現在地を知る

(海老名総合病院) 飯田 剛幸

Filling the gap in AF Management

(新百合ヶ丘総合病院) 高橋 良英

一般演題セッション 1 2 全般的問題/その他

16:00-16:40

座長 (東京家政大学栄養学部栄養学科) 佐藤加代子

座長 (東京慈恵会医科大学救急災害医学講座) 武田 聡

コメンテーター (東京都立広尾病院循環器科) 田中 博之

IV-9 心臓カテーテル検査後の医原性脳梗塞に対して、経食道心エコー及びバブルテストが診断に有効であった一例

(横須賀市立総合医療センター)

尾村 有己

山脇 理弘、吉田 裕紀、山口 貴宣、米澤 将克、

野田 光里、圓谷 紘乃、南本 祐吾、片岡 俊介、

羽柴 克孝、坂 賢一郎、泊口 哲也、荒木 浩、

黒木 茂、吉村 道博、岩澤 孝昌、沼田 裕一

IV-10 院内ローカル環境での大規模言語モデルの診断精度向上手法の検証

(東京大学循環器内科)

生浪島海央

小寺 聡、関戸 隆、篠原 宏樹、石田 純一、

武田 憲彦

IV-11 抗血栓薬中断後に心筋梗塞を来した川崎病既往患者における、成人移行期の自己管理支援の課題

(日本大学病院循環器内科)

北堀 秀和

門傳 昌樹、岩田良太郎、松永 悠路、瀬戸口俊貴、

平田 萌、大塚 直人、藤戸 秀聡、八木 司、

鷲尾 武彦、松本 真明、鈴木 康之、横山 勝章、

深町 大介、松本 直也

(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科)

奥村 恭男

IV-12 ST上昇型急性心筋梗塞に対する冠動脈治療後に発症したSGLT2阻害薬関連正常血糖性ケトアシドーシスの1例

(群馬大学医学部附属病院循環器内科)

久野 貴弘

天内 士郎、高間 典明、石井 秀樹

IV-13 経皮的僧帽弁接合不全修復術中にアナフィラキシー様ショックを呈した一例

(済生会横浜市東部病院循環器内科)

毛利 圭佑

山口 航平、島津慶一郎、小山 智久、藤井陽太郎、

谷中 夏海、村井 篤弥、深川 知哉、宮田 雅大、

堤 正和、毛利 晋輔、小林 範弘、伊藤 良明

第V会場

一般演題セッション13 肺高血圧

9:00-9:35

座長（国際医療福祉大学医学部市川病院循環器内科）船橋 伸禎

座長（東京医科大学病院循環器内科）伊藤 亮介

コメンテーター（慶應義塾大学医学部循環器内科）平出 貴裕

V-1 経時的に労作時息切れが増悪し、PVODの診断に時間を要した一例

（順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座）

土居 健太

加藤 隆生、河野 和晴、金子 智洋、相川 忠夫、

内藤 亮、林 英守、南野 徹

V-2 肺動脈性肺高血圧症の死亡原因について考察する（妊娠併発肺高血圧症）

（群馬大学医学部付属病院循環器内科）

河藤 杏琴

高間 典明、箱田 祥子、磯部の八、石尾洵一郎、

岩井龍太郎、谷内 亮太、湯浅 直紀、村上 文崇、

鏡 和樹、天内 士郎、長谷川 寛、反町 秀美、

田村峻太郎、石橋 洋平、長坂 崇司、小保方 優、

中谷 洋介、石井 秀樹

V-3 Dasatinib内服後遠隔期に発症した重症肺動脈性肺高血圧症に対し、早期の多剤併用療法が奏功した一例

（東邦大学医学部内科学講座循環器内科分野）

齋藤 滉大

小池 秀樹、菊島 朋生、橋本 英伸、矢部 敬之、

大久保 亮、佐地 真育、木内 俊介、藤野 紀之、

中西 理子、天野 英夫、久武 真二、池田 隆徳

（東邦大学医学部小児科学講座）

高月 晋一

V-4 バルーン肺動脈形成術後に再燃した呼吸困難の原因が小麦アレルギーであった慢性血栓閉塞性肺高血圧症の一例

（昭和医科大学病院）

相山 由実

樋口 聡、新家 俊郎

一般演題セッション14 心不全

9:45-10:20

座長（東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科）名越 智古

座長（東京大学医学部附属病院循環器内科）八木 宏樹

コメンテーター（杏林大学医学部・杏林大学保健学部循環器内科・臨床工学科）坂田 好美

V-5 虚血性心疾患を背景とする低心機能心不全により、急速に左室内血栓が生じ、心原性脳梗塞に至った一例

（平塚共済病院循環器内科）

松本 拓己

西川陽一郎、中田 光宥、津野 航、吉川 宏、

河本 梓帆、仁井田崇志、秋吉 基光、荒木 恵子、

岩井 慎介、小林 一士、大西 祐子

V-6 両心室内血栓をとまなう心原性ショックに対しcentral ECMO導入をおこなうも血栓コントロールに難渋した1例

（慶應義塾大学循環器内科）

田村 佳緒

岩永 光史、白石 泰之、玉置 博之、平出 貴裕、

安西 淳、沼澤 洋平、香坂 俊、家田 真樹

（慶應義塾大学心臓血管外科）

松本 順彦、志水 秀行

V-7 ダパグリフロジンが心不全コントロールに有用であったStiff LA症候群の一例

(東京大学医学部附属病院循環器内科)

高木 宏徳

吉田由理子、桂 茉衣、八木 宏樹、石田 純一、
波多野 将、武田 憲彦

V-8 薬剤抵抗性のVTストームに対して、カテーテルアブレーション治療を行い、良好な転帰を辿った一例

(横須賀共済病院循環器内科)

小山 拓人

山口 雄大、張 俊模、矢野 弘崇、齋藤 一平、
伊藤 諒、菱刈 景一、川口 直彦、中島永美子、
村井 典史、田中 泰章、大久保健史、高橋 淳

循環器病対策推進セッション

10:40-12:10

座長 (自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学兼循環器内科学) 桑原 政成

座長 (日本医科大学循環器内科) 浅井 邦也

ディスカッサント (千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 仲野 美代

ディスカッサント (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 出雲 昌樹

ディスカッサント (山梨大学医学部附属病院地域医療学・総合診療部循環器内科) 中村 和人

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の今後の展望

千葉県での脳卒中・心臓病等総合支援センターの取り組みについて

(千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 近藤 祐介

神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業の取り組み

(聖マリアンナ医科大学循環器内科学) 明石 嘉浩

山梨県での脳卒中・心臓病等総合支援センターの取り組み

(山梨大学大学院総合研究部内科学講座循環器内科学) 佐藤 明

ランチョンセミナー 5

12:20-13:10

共催：興和株式会社

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

「動脈硬化と闘う未来の医療：脂質異常症研究の最前線」

(金沢大学附属病院循環器内科) 多田 隼人

生物統計セミナー

13:20-14:20

座長 (東京慈恵会医科大学臨床薬理学) 志賀 剛

質の高い臨床研究を目指して

ランダム化の基本：その必要性和考え方

(東京慈恵会医科大学研究推進センター) 高橋 翔

会長講演

14:25-14:55

座長 (東京慈恵会医科大学附属病院総合健診・予防医学センター) 池脇 克則

血清リポ蛋白(a)の測定と動脈硬化性疾患のリスク管理

(東京慈恵会医科大学附属柏病院中央検査部) 吉田 博

デザートセミナー5

15:05-15:55

共催：ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社
座長（獨協医科大学心臓・血管内科/循環器科） 豊田 茂

閉塞性肥大型心筋治療の新時代

PTSMA術者から見たマバカムテン時代のHOCM診療

（筑波大学附属病院循環器内科） 平谷 太吾

医療安全・医療倫理に関する講習会（DVDセッション）

16:00-18:00

本セッションでは、第89回日本循環器学会学術集会で収録したプログラムをご覧ください。

第Ⅵ会場

一般演題セッション15 虚血性心疾患1

11:20-12:10

座長（聖隷横浜病院心臓血管センター） 芦田 和博
座長（千葉大学医学部附属病院循環器内科） 立石 和也
コメンテーター（東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科） 木村 悠
コメンテーター（総合高津中央病院心臓血管センター） 山内 靖隆

Ⅵ-1 下壁心筋梗塞に合併した心室中隔穿孔を伴う心基部仮性心室瘤

（横浜市立市民病院循環器内科学）

豊田 航大
小浦 貴裕、新村 大輔、酒井 正憲、樫村 晋、
北島 龍太、田中 誠、小澤 貴暢、井部 進、
増田 光佑、曾 充人、浦中 康子、笠間啓一郎、
松本 淳、山下 直哉

Ⅵ-2 ステンントギャップの石灰化結節病変に対して最終的にDESを留置した一例

（自治医科大学附属さいたま医療センター）

大槻 拓実
陣内 博行、坂倉 建一、石橋 峻、渡邊 裕介、
津久井卓伯、瀬口 優、藤田 英雄

Ⅵ-3 若年性特発性関節炎(JIA)に合併した多発冠動脈瘤に起因する急性心筋梗塞の一例

（埼玉医科大学総合医療センター）

堀澤 優介
奥田 希子、上嶋 紗瑛、吉川 公基、内藤珠美乃、
北川 快、沼賀 美紀、橋本 淳貴、三好晃太郎、
米山 史華、家村 優、志賀野航生、小形 円香、
河原 勇貴、谷 昂大、村上 司、安藤 敏行、
石原 嗣郎、小宮山英徳、重城健太郎

Ⅵ-4 後壁心筋梗塞に伴う機能性僧帽弁閉鎖不全症に対して僧帽弁置換術が奏効した1例

（自治医科大学附属さいたま医療センター）

野濱 正輝
石橋 峻、坂倉 建一、陣内 博行、瀬口 優、
渡邊 裕介、笠原 卓、長谷川宏子、藤田 英雄

Ⅵ-5 ロータブレードワイヤー断裂の一例

（東京逋信病院循環器科）

高橋 勇太
一戸 能磨、富満 悠葵、間淵 圭、福永 寛、
山中 哲雄、東谷 勉昭

Ⅵ-6 二枝同時閉塞の急性心筋梗塞に対するPCI中に一枝が自然再灌流した一例

（茅ヶ崎市立病院）

西村武佐志
中戸川知頼、三橋 孝之、近藤 愛、宮川 秀一

ランチョンセミナー6

12:20-13:10

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

座長（千葉西総合病院）

三角 和雄

OCT

（横須賀市立総合医療センター循環器内科）

羽柴 克孝

一般演題セッション16 虚血性心疾患2

13:20-14:00

座長（東京慈恵医大葛飾医療センター循環器内科）南井 孝介

座長（防衛医科大学校病院循環器内科）小西 崇夫

コメンテーター（東京女子医科大学循環器内科）山口 淳一

VI-7 上行大動脈に付着する可動性血栓に起因したST上昇型急性心筋梗塞の一例

（獨協医科大学病院心臓血管内科/循環器内科）

近藤 侃

小手川太郎、鈴木立二郎、井上 莉里、橋本 涼太、
和久隆太郎、廣瀬 優、西野 節、佐久間理吏、
豊田 茂、永野 律郎

VI-8 胸痛を繰り返す右冠動脈起始異常の一例

（東邦大学医療センター佐倉病院内科）

中神 隆洋

美甘 周史、佐藤 修司、伊藤 拓朗、戸谷 俊介、
野中 翔矢、岩川 幹弘、清水 一寛

VI-9 急性心筋梗塞に伴う完全房室ブロックを呈した高齢女性に対し、慎重な経過観察で洞調律へ復帰した一例

（神奈川県立循環器呼吸器病センター循環器内科）

木根 佑奈

石井 一帆、小嶋 寛之、鍵本美奈子、鈴木 弘之、
井口 公平、福井 和樹

VI-10 第一対角枝閉塞による急性心筋梗塞で前乳頭筋断裂に至った一例

（東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科）

齋藤惠理子

佐々木 裕、山崎 吉人、中山 稜、新島 旭、
福島 啓介、横山 正明、木下 浩司、木村 悠、
小武海公明

（東京慈恵会医科大学附属柏病院心臓外科）

川田 典靖、雨谷 優

（東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科）

徳田 道史

VI-11 血圧管理で運動負荷心電図の虚血性変化が改善したINOCAの一例

（千葉県済生会習志野病院）

岩崎 真奈

松本 忠浩、田澤 寿保、鈴木 雅博、蒔田憲太朗、
豊吉 紘之、横山 健一、白石 博一、坂本 直哉、
小林 智

一般演題セッション17 虚血性心疾患3

14:05-14:45

座長（船橋市立医療センター心臓血管センター循環器内科）青山 里恵

座長（埼玉医科大学病院心臓内科）飯田慎一郎

コメンテーター（順天堂大学大学院医学研究科循環器内科）岩田 洋

VI-12 高浸透圧高血糖症候群を合併したSTEMI心原性ショックに対して補助循環下で積極的輸液管理が行えた1例

（日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科）

美甘真里奈

脇田 真希、浅見 慎思、伊藤 紳晃、木村 徳宏、
澁谷 淳介、中田 淳、宮地 秀樹、山本 剛

（日本医科大学付属病院循環器内科）

浅井 邦也

VI-13 冠動脈バイパス術におけるNo-Touch法と従来の静脈採取法の比較：RCTのメタ解析

(横須賀米海軍病院) 霜田 智成
(Montefiore Medical Center Department of Surgery) 吉田 大蔵
(Emory University School of Medicine Division of Cardiothoracic Surgery) 横山裕次郎
(静岡医療センター心臓血管外科) 高木 寿人
(Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School Division of Cardiology) 工野 俊樹

VI-14 MI後早期に発症した心室中隔穿孔に対して、POBAでの血行再建後Impella5.5を留置し待機的にOpeを施行した1例

(埼玉石心会病院循環器内科) 宇野 将太
西野 開、三好 由、森迫 夏実、永富 駿平、
萩原 卓思、若林 典弘、西山 茂樹、金山 純二、
芝崎 太郎、小路 裕、飯田 隆史、入江 忠信

VI-15 冠攣縮により短期間に解離が増悪したと推察される特発性冠動脈解離の一例

(東京ハートサミット東京心臓不整脈病院循環器内科) 小田 優香
臼井 隆一、野上 昭彦、鶴野起久也
(東京女子医科大学附属足立医療センター循環器内科) 山田 隆弘

VI-16 超高齢者のACSに対してDCB治療で終えた2症例
(昭和医科大学藤が丘病院循環器内科)

呉 元喜
森 敬善、石井 優紀、谷崎 友香、武井 洋介、
曾根 浩元、田代 一真、鈴木 洋

一般演題セッション18 虚血性心疾患4

14:55-15:35

座長 (東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科) 小武海公明
座長 (国際医療福祉大学成田病院循環器内科) 佐藤 貴雄
コメンテーター (日本大学病院循環器内科) 深町 大介

VI-17 上腕動脈攣縮によりカテーテル抜去困難になった一例

(東京都健康長寿医療センター循環器内科) 宮内 祐弥
二見崇太郎、鳥羽 梓弓、小松 俊介、碓井 伸一、
坪光 雄介、藤本 肇、石川 譲治、原田 和昌

VI-18 労作時のみ胸部症状を呈した冠攣縮性狭心症の一例

(東京医療センター) 宅間 佳歩
西村 崇文、坂本 宗久、稲川 浩平、東谷 卓美、
青山 真之、角田那由香、関根 乙矢、宮崎 良央、
岩出祐一郎、岡崎 大海、近藤 匠、角南 佑季、
森下ふう菜

VI-19 多枝病変の非ST上昇型心筋梗塞で、CTによる細胞外容積分画 (ECV) 解析が責任病変同定に有用であった一例

(土浦協同病院) 村上 理子
細川 凱生、渡邊 崇弘、渡邊 匠、左山 耕大、
上野 弘貴、臼井 英祐、金地 嘉久、角田 恒和
(市立青梅総合医療センター) 長嶺 竜宏

VI-20 方向性冠動脈粥腫切除術により生体で診断し得たIgG4関連冠動脈病変の一例

(筑波メディカルセンター病院循環器内科) 宇治田彩花
桑山 明宗、相原 英明、仁科 秀崇

VI-21 肺癌の心筋浸潤による心筋虚血を複数の画像検査にて診断した一例

(東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科)

太田 雄大

山本 裕大、伊東 哲史、吉井 顕、柏木 雄介、

小川 和男、名越 智古、小川 崇之、徳田 道史

一般演題セッション19 心内膜炎関連

15:45-16:20

座長 (順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科) 磯田 菊生

座長 (東京女子医科大学病院循環器内科) 曾根麻衣子

コメンテーター (東京慈恵会医科大学循環器内科) 川井 真

VI-22 『ペースメーカ植込み後に心嚢液貯留を来した一例』

(北里大学病院循環器内科)

豊崎 礼

小林 周平、石末 成哉、深谷 英平、阿古 潤哉

VI-23 僧帽弁位感染性心内膜炎に対する弁形成術後14日で新規大動脈弁位感染性心内膜炎を発症し再手術となった一例

(聖路加国際病院心臓血管外科)

泉 海渡

西田 秀史、増田 快飛、中村 亮太、玉木 理仁、

阿部 恒平

VI-24 完全房室ブロックで発症した弁輪部膿瘍を伴う人工弁感染性心内膜炎に対し外科的・内科的治療で救命した1例

(練馬光が丘病院循環器内科)

住本 陸

山本 慶、佐藤 陽、間瀬 卓顕、齋藤 大樹、

伴 聡一郎、齊藤 遥平、裴 賢哲、鴨志田 将、

荒尾憲司郎

VI-25 ANCA関連血管炎(顕微鏡的多発血管炎)による血性心嚢液貯留の一例

(埼玉メディカルセンター循環器内科)

山形 慧

鶴巻 良允、門坂麻耶子、衣川 瑞人、木葉 雄行、

平原 大志、久保 典史

(埼玉メディカルセンター救急科)

和田 浩

第Ⅶ会場

エコーハンズオンセッションⅠ (602C)
9:00-12:00

協賛：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

POCUS心エコー

「その胸痛、心臓が原因？ POCUSで探るクリティカルサイン
～プローブの持ち方から描出のコツまで～」

講師：横山 直之（帝京大学医学部臨床検査医学）
実技指導：野尻明由美（東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座）
実技指導：宮坂 政紀（東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座）

エコーハンズオンセッションⅡ (602D)
9:00-12:00

協賛：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

血管エコー

「これから始める血管エコー
～描出方法からドブラ法の基本まで～」

講師、実技指導：増山里枝子（帝京大学医療技術学部臨床検査学科）
実技指導：半沢美恵子（慶應義塾大学病院臨床検査科）

※上記2セッションは事前参加申込制となっております。詳細は地方会HPをご確認ください。

カテーテルハンズオンセッション (602CD)
13:30-16:30

協賛：テルモ株式会社

「明日は我が身 PCIトラブルシューティングセミナー」

講師：小川 崇之（東京慈恵会医科大学循環器内科）
実技指導：福島 啓介（東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科）
実技指導：木下 浩司（東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科）

※上記セッションは事前参加申込制となっております。詳細は地方会HPをご確認ください。

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

（目的）

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

（定義）

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

（支部役職者及び支部職員の責務）

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都新宿区笹原町43 新神楽坂ビル2F 有限会社ビジョンブリッジ内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、支部規程第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(副支部長)

第4条 本支部に副支部長を1名を置く。

- 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
- 支部長に事故あるとき、又は支部長が別の支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。
- 副支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を遵守しなければならない。

(支部役員)

第5条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第6条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。

4. 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない。
5. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第7条

2. 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習会担当幹事1名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事1名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン 等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

第8条

2. 支部規程第10条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部社員総会において承認する。
3. 推薦人は、支部役員会予定日より15日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の3項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65歳以下で7年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去5年間に3演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、異動および転籍により関東甲信越支部の会員となった場合は、他支部における演題発表を特例として認める。
また、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

(地方会会長)

第9条

2. 支部規程第11条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より15日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第10条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年 1 回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年 1 回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年 2 回開催とする。
5. 支部評議員会は、年 3 回開催とする

(支部事務局業務)

第11条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記 1 項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第12条

2. 支部規程第16条 1 項に定める地方会について、本支部は毎年 4 回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金 90 万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。

9. 地方会当日の現金（参加費）の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

（JCS-ITC 講習会）

第13条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱いについては、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉

税分の納税を行う。（謝金金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）

11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

（支部委員会）

第14条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改訂
令和2年9月5日一部改訂
令和5年10月1日一部改訂
令和7年9月13日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 学会のホームページの作成、管理及び運用

2) インターネットによる本会の情報サービス

3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動

4) その他必要な業務。

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様な人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様な人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
- 2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。

2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。

3) その他必要な業務

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。

2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。

3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。

4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

MEMO

医療の未来のために 一歩ずつ革新していきます

高品質な結果を提供することで臨床診断をサポートする検査ソリューション、治療および治療からのより早い回復や正確なモニタリングを可能にする医療機器、そして栄養の摂取を効率的に補完する栄養剤製品まで、私たちアボットの技術は、人々がより健康で、人生を謳歌できるよう手助けしています。

診断薬・機器 | 医療機器 | 栄養剤製品

abbott.co.jp



life. to the fullest.®

Abbott

ADD-142573-JAP-JA 12/22

Medtronic ATP advantage

Cobalt™ MRI ICD シリーズ & Cobalt™ MRI CRT-D シリーズ

デバイスを植え込んだ患者さんの
痛みを和らげること、
健康を回復することに貢献します

Intrinsic ATP™ (iATP)

日本メドトロニック株式会社
カーディアックリズムマネジメント
108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

Medtronic ATP advantage に関するページはこちらから
(会員登録とログインが必要です)



診療科や専門を問わず、様々なコンテンツを幅広くご覧いただける医療従事者向け会員制総合プラットフォームです。Medtronic 製品を安全に使用していただくための情報をご提供します。



Reactive ATP™

*Cobalt™ XT VR ICDにReactive ATP™機能は搭載されていません

Medtronic

© 2022 Medtronic. Medtronic, メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

●使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。●ご使用前に取扱説明書等をよくお読みの上、正しくお使いください。●掲載の製品イメージは印刷条件等により、実物と印象が相違する場合があります。

販売名 / 医療機器承認番号 Cobalt MRI ICDシリーズ / 30200BZX00097000 Cobalt MRI CRT-Dシリーズ / 30200BZX00098000

FY22-CRM419_Ver.1.0

医療・健康ニーズに応じて、
人々の健康・福祉にいつそう貢献したい。

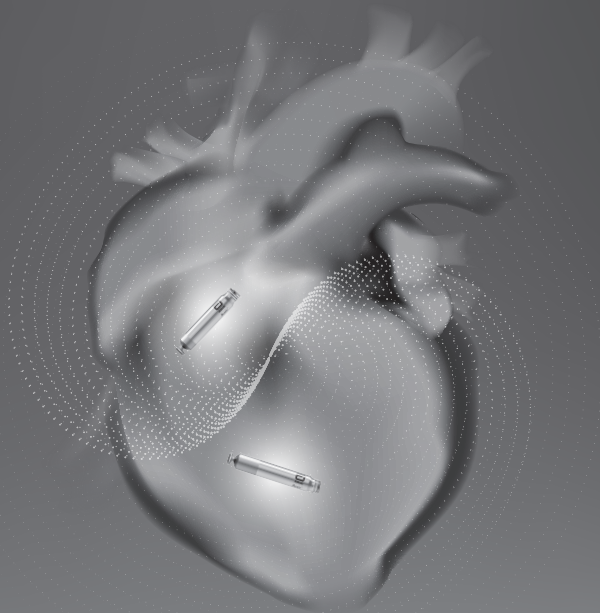


患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>



AVEIR™ DR Dual Chamber Leadless Pacemaker System

AVEIR LPは、一般的なペースメーカー適応の治療¹を提供できる
唯一の²リードレス ソリューションです。³



BEAT-TO-BEAT SYNCHRONY^{3,4}



UPGRADEABLE³



DESIGNED FOR RETRIEVAL^{3,5}

References

1. デュアルチャンパベージング
2. 2024年11月時点 アボットメディカルジャパン合同会社調べ
3. AVEIR Leadless Pacemakers and Delivery Catheter IFU, ARTEN600284235.
4. Knops, Reinoud E., et al. "A Dual-Chamber Leadless Pacemaker." New England Journal of Medicine (2023). DOI: 10.1056/NEJMoa2300080
5. Reddy, VY, et al. Worldwide Experience with Leadless Pacemaker Retrievals: A Worldwide Nanostim Experience out of 9y. Presented at: APHRS 2022; Nov 18-20, 2022; Singapore.

製造販売元

アボットメディカルジャパン合同会社

〒105-7115 東京都港区東新橋一丁目5番2号

汐留シティセンター

TEL 03-6255-6372 FAX 03-6255-6373

販売名: アヴェイル LP 承認番号: 30400BZX00287000

注 意: 本品のご使用に際しては、添付文書等を必ずお読みください。

©2024 Abbott. All rights reserved.

MAT-2413310 v1.0 | Item approved for Japan use only.

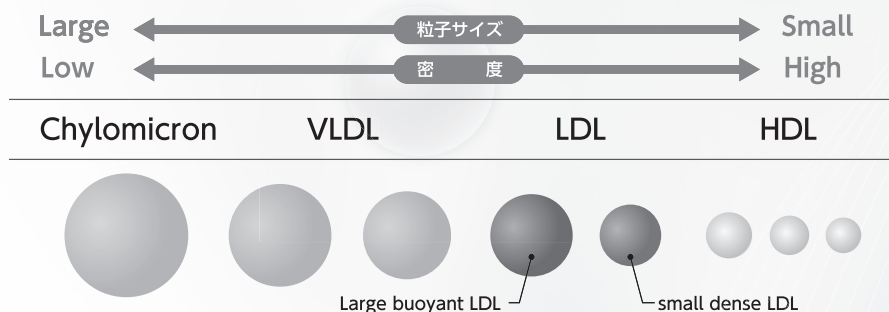


sdLDL- コレステロールキット (直接法)

s LDL-EX「生研」

small dense LDL (sdLDL) は、粒子の大きさや密度が異なるLDL亜分画のうち、より小さくて密度の高い分画です。sdLDL分画に含まれるコレステロール量(sdLDL-コレステロール)は、冠動脈性心疾患(CHD)の発症リスクと関係していることが報告されています。

イメージ図



特徴

- 各種汎用自動分析装置に対応可能です。
- 血清、血漿での測定が可能です。
- 将来の冠動脈性心疾患発症リスクの評価に有用です。
- 本試薬を使用した国内の前向き疫学試験の結果を用いて、臨床性能評価を行っています。

包装単位

● s LDL-EX「生研」

統一商品番号	内容	容量
562937	酵素液-1 R-1	18mL × 1
	酵素液-2 R-2	6mL × 1

貯蔵方法: 遮光して2~8℃に保存 有効期間: 12箇月

標準液・コントロール (別売品)

● 標準液

統一商品番号	包装
562128	脂質キャリブレーターD 1mL用 × 5

貯蔵方法: 遮光して2~10℃に保存 有効期間: 18箇月

● コントロール

統一商品番号	包装
561350	脂質コントロールI 1mL用 × 10
561367	脂質コントロールII 1mL用 × 10

貯蔵方法: 遮光して2~10℃に保存 有効期間: 18箇月